

# One Team



輪島市立門前中学校 3 年学年通信 第 25 号 2020.11.11

## <3 年生 18 人でつかんだ最優秀賞>

7日に行われた文化祭で、3年生は今までの練習を越える合唱と劇を見せてくれました。先週1週間、合唱や劇の練習の様子を見ていて、日に日にみんなの気持ちがまとまっていくのが分かりました。そして当日、朝の声出し練習、劇前に舞台裏から聞こえる円陣の声。3年生の本気を感じました。2年生と同点ではありましたが、約束通り念願の最優秀賞をとることもできました。指揮者の さんが言っていたように、3年生の気持ちが全てこもったすばらしい合唱でした。たくさんの感動を与えてくれた皆さんに、先生達も感謝の気持ちで一杯です。



絶対最優秀賞  
取って来いよ～

今日、私達3年生にとって最後の文化祭が幕を閉じた。だが、今は、想像していた悲しい感情ではなく、やりきったという達成感に満ち溢れている。それは1カ月間という、まだ中学生の私達にとっては長い期間努力を積み重ねてきたからだろう。例えば、合唱コンクールだ。初めは、みんな声あまり出ず指揮もピアノも声もきれいにそろわなかったが、目標を立て達成していくことで最終的には、最優秀賞をとることができ、指揮である私も、最優秀指揮者賞をとることができた。

最後の文化祭を通して、再び、努力を積み重ね勝利をつかみ取ることの快感、また大切さを確認することができた。

私はこのメンバーで過ごす最後の文化祭を終えて、とても清々しい感謝で胸がいっぱいだ。先生方や親にももちろん感謝しているが、私の中の一番は今回は友達、特にクラスの人達である。劇では実行委員が率先して練習を進めてくれたり、みんなで意見を出してよりよいものにしようと話し合ったりした時間は、意見が合わずちぐはぐな事もあったけれど楽しかった。合唱もなかなか思うように声が出なかった。でも本番が近づくにつれ、みんながまとまり、最優秀賞へのこだわりも強くなっていった。「文化祭」はきっと人と人との輪を深め、絆を強くする、ということが改めてわかった。来年以降も後輩には、今年を越えるような文化祭を受け継ぎ、友情を深めていってほしいと思う。

今年は最後ということもあり、それぞれが仕事、役割に協力して活動することができた。だからこそその衝突もあったが、それでも全員で乗り越えることができ、嬉しかったし、本当にこのクラスのメンバーになれて良かったなあと心底思える文化祭だった。

私にとって最後の文化祭は特別なものになりました。学年合唱では練習でたくさん苦戦しなかなか「良い」と思えず、中間発表で2年生との差を身にしみて感じ「最優秀賞を本当にとれるのかな」と不安でした。しかし3年生全員が「最優秀賞を絶対にとるぞ!!」と言い、弱音を全く吐いていませんでした。それを見て私も頑張ることができました。本番では、勇気も来てくれて、歌う直前にみんなが「頑張るぞ」「できる、できる」と言っているのを聞いて、私は歌う前から泣いてしまいました。全員で今までの最高を出せて、最優秀賞もとることができて、今までで最高の文化祭になりました。やっぱり私はこのクラスが大好きです。

中学校生活最後の文化祭であり、この18人全員でする最後の文化祭でもあった、この1日はとても濃く良い思い出となった。劇の実行委員となり、うまく練習など進められず、本番前日にまで一部を作り直すなど、みんなには迷惑をかけてしまったけれど、このクラスにしかない団結力のおかげで全てにおいて成功することができた。劇前に全員でした円陣の時「このクラスで良かった」と改めて思った。最高のクラスで、勇気の思いも受け取り、叶えることまでできたので感動した。

この1日で門中に大きな虹を架けることができた。卒業式までしっかり架けておきたい。

